

1 「真摯に学ぶ生徒」にするために

(1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させます。

- ①教師自身が指導内容について研究し、基礎的・基本的な知識及び技能の徹底を図ります。
- ②反復学習、小テスト、ワークシート、パフォーマンステスト等、定着方法の工夫を図ります。
- ③深谷スタイルに基づき、生徒の特性を配慮した掲示や板書の工夫を図ります。
- ④学校総合支援員、中学校学習支援員を中核に、ステップアップレッスンの充実を図ると共に、放課後や長期休業中に基礎的・基本的な学習内容の補充学習を行います。

(2) 知識・技能を基に、主体的・対話的で深い学びで思考力、判断力、表現力等を育成します。

- ⑤教師自身が指導内容について研究し、思考力、判断力、表現力を育成します。
- ⑥各教科とも、主体的・対話的で深い学びを取り入れ、思考力、判断力、表現力を育成します。
- ⑦授業スタンダードや授業ベーシックを基盤に、レポート作成、推敲、討論・発表等を工夫し、思考力、判断力、表現力を育成します。
- ⑧生徒相互による「学び愛」「教え愛」活動を行い、思考力、判断力、表現力を育成します。

(3) 学習意欲を向上させ、学習習慣の充実を図ります。

- ⑨系統的なキャリア教育として、1年生での「座右の銘」、2年生での「職場体験」や「立志式」を中核にして夢やあこがれ、学ぶ意義の具現化を図り、生涯に繋がる学習習慣を育成します。
- ⑩「学習の手引き」を活用し、学習習慣の確立を図り、家庭学習の充実を図ります。
- ⑪生徒による取組の評価を実施し、R-P-D-C-A サイクルを生かした授業改善に生かします。

2 「心を磨く生徒」を育成するために

(1) 「特別の教科 道徳」や特別活動で「心を磨く生徒」を育成します。

- ⑫「特別の教科 道徳」や特別活動を主体に、キャリア意識の発達と豊かな人間性を育成し「心を磨く生徒」を育てます
- ⑬教師の話や友達の発表をしっかりと聞き、はっきりした声で発表できる生徒を育成します。
- ⑭生徒のキャリア意識の発達を図り、希望と忍耐力を持って着実にやり抜く強い精神力を育成します。
- ⑮学校行事や体験活動を重視し、生徒の主体性や自律性を高めるとともに、団結力・協調性などを育成し、達成感を味わわせます。

(2) あいさつや無言清掃で「心を磨く生徒」を育成します。

- ⑯「時・場・礼」と「あいさつ日本一」の取組を推進し、「心を磨く生徒」を育成します。
- ⑰校内はもとより、地域でも積極的なあいさつを励行し、「心を磨く生徒」を育成します。
- ⑱無言清掃を心を磨く時間と位置づけ、勤労や奉仕に対する好ましい価値観を育成します。
- ⑲月曜日を「クリーン Monday」とし、5分間の清掃に対する心構えの時間を特設し、心を磨く清掃活動を実践します。

(3) 生徒会活動や部活動で「心を磨く生徒」を育成します。

- ⑳生徒会本部や専門委員会を中心に、ありがとう運動など「心を磨く」活動を計画・実践します。
- ㉑社会福祉協議会と連携し、奉仕活動やボランティア活動を実践します。
- ㉒「Happy day」を通し、感謝の気持ちと、部活動規律を高めます。
- ㉓部活動の日々の練習を通し、チームワークや不撓不屈の精神や克己心等を育成します。

(4) 家庭・地域との連携で「心を磨く生徒」を育成します。

- ㉔家庭・地域との連携を密にし、基本的な生活習慣を確立させ「心を磨く生徒」を育成します。
- ㉕公民館運営審議会、青少年健全育成会議、更生保護女性会、社会福祉協議会、自治会長会議等に参加し、健全育成に関し学校と地域の協力体制を向上させます。
- ㉖学校応援団と協力し、青少年健全育成を図ります。
- ㉗家庭での正しいメディアの活用を図るため、アイカードとメディアコントロールの取り組みを推進します。

3 「体を鍛える生徒」にするために

(1) 新体力テストの結果から弱点を克服し、体力づくりに努めます。

- ㊸新体力テストの結果を分析し、生徒の弱点を洗い出し、その克服に努めます
- ㊹体力向上に向け、運動の喜びや楽しさを味わわせ、体力を高める授業の工夫をします。
- ㊺部活動は、体力、責任感、連帯感等が涵養できるよう取り組みます。

(2) 意図的・継続的に健康・安全教育を推進します。

- ㊻基本的な生活習慣を確立すると共に、健康教育の増進を進めます。
- ㊼アイカードやメディアコントロールを活用し、「安心ふっかネット」を遵守させ、心身の健康を推進します。
- ㊽自転車の安全運転の徹底と部活動の適切な指導により、交通事故及び部活動事故の絶無を目指します。

(3) 「立腰教育」とあいさつの励行により、心と体を鍛えます。

- ㊾授業の開始時に、腰骨を立て顎を引き、正しい姿勢で授業が受けられるよう指導します。
- ㊿「あいさつ日本一」の取組を小学校、公民館、自治会と連携し、地域ぐるみで取り組みます。
- ㊽生徒指導委員会等で共通理解を図り温度差のない指導をすると共に、生徒会活動をとおして生徒の自覚を高めます。

4 「信頼される学校」にするために

(1) 自己研鑽に励み、信頼される職員集団を形成します。

- ㊿「深谷の子6つのちかい」を基盤に、ふるさと花園を愛し、夢とこころざしをもち、まごころと思いやりのある花園の子の育成に努めます。(夢・勉強・体験・あいさつ・くつそろえ・心のこもったことば)
- ㊽学校研究課題に基づいた研究・研修を行うと共に、定期的に職員相互の授業参観を実施し、組織的な教育力の向上を図ります。
- ㊾年間シラバス(学習内容・計画・評価)を配布し、教育課程の内容を周知し、家庭との連携に努めます。
- ㊿倫理確立委員会を中核に、教育公務員としての倫理観や使命感を高め、教職員事故の根絶を目指します。

(2) 組織マネジメント(R-P-D-C-Aサイクル)を活用し、信頼される学校を目指します。

- ㊿学校運営協議会委員・生徒・保護者・教職員による学校評価を実施し、ホームページ等で報告するなど学校の説明責任を果たすと共に、計画的・組織的に改善策を講じます。
- ㊽教職員による花園中・教育公約の評価を年2回行い、R-P-D-C-Aサイクルによる学校教育目標の具現化を図ります。

(3) 地域連携を積極的に推進し、開かれた学校づくりを推進します。

- ㊿自治会長、保護司、民生委員、児童委員、更生保護女性会、学校応援団等との連携を深め、地域と連携した教育を推進します。
- ㊽学校だよりやPTA広報誌等を発行し、学校の教育活動や生徒の様子を家庭・地域へ発信します。
- ㊾生徒の個人情報に配慮しつつ、学校だより等の発行、ホームページの更新など、適切な情報発信に努めます。

(4) 教育環境を整備しいじめの根絶を目指し、安心・安全で生きがいのある学校づくりに努めます。

- ㊿定期的な安全点検により危険箇所を根絶すると共に、危機管理マニュアルによる安心・安全な学校づくりに努めます。
- ㊽「緊急連絡ページ」の運用率100%を目指し、危機管理を徹底します。
- ㊾PTAや学校応援団の協力により、随時環境整備を実施し、学校の教育環境を整えます。
- ㊿防災マニュアルを見直し、直下型地震や竜巻・暴風雪等に備えた実践的な避難訓練を実施します。
- ㊽いじめ防止対策委員会を中心に、日々の情報収集を行うと共に、定期的にいじめ防止のためのアンケートを実施、いじめの根絶を目指します